

特別企画：市町村教育長対談 (別府教育事務所管内)

テーマ

今、学校教育活動に必要な「教育の協働」を語る
～「地域学校協働活動」(コミュニティ・スクール)に期待するもの～

(登壇者) 姫島村教育委員会 中元 一郎 教育長
国東市教育委員会 加藤 正和 教育長
日出町教育委員会 堀 仁一郎 教育長
杵築市教育委員会 清末 陽一 教育長
別府市教育委員会 寺岡 悌二 教育長

(司会) 林 浩昭 (東国東地域デザイン会議会長・大分県教育委員)

今の子どもの気になる姿(課題)

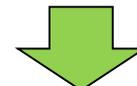
- ①基本的な生活習慣が身につけていない
- ②道徳心や公共心の薄れ
- ③学習意欲の低下
- ④基礎的な学力の低下
- ⑤自然体験・生活体験・社会体験の不足
- ⑥コミュニケーション能力の低下
- ⑦地域の安全・安心



学校だけが担う

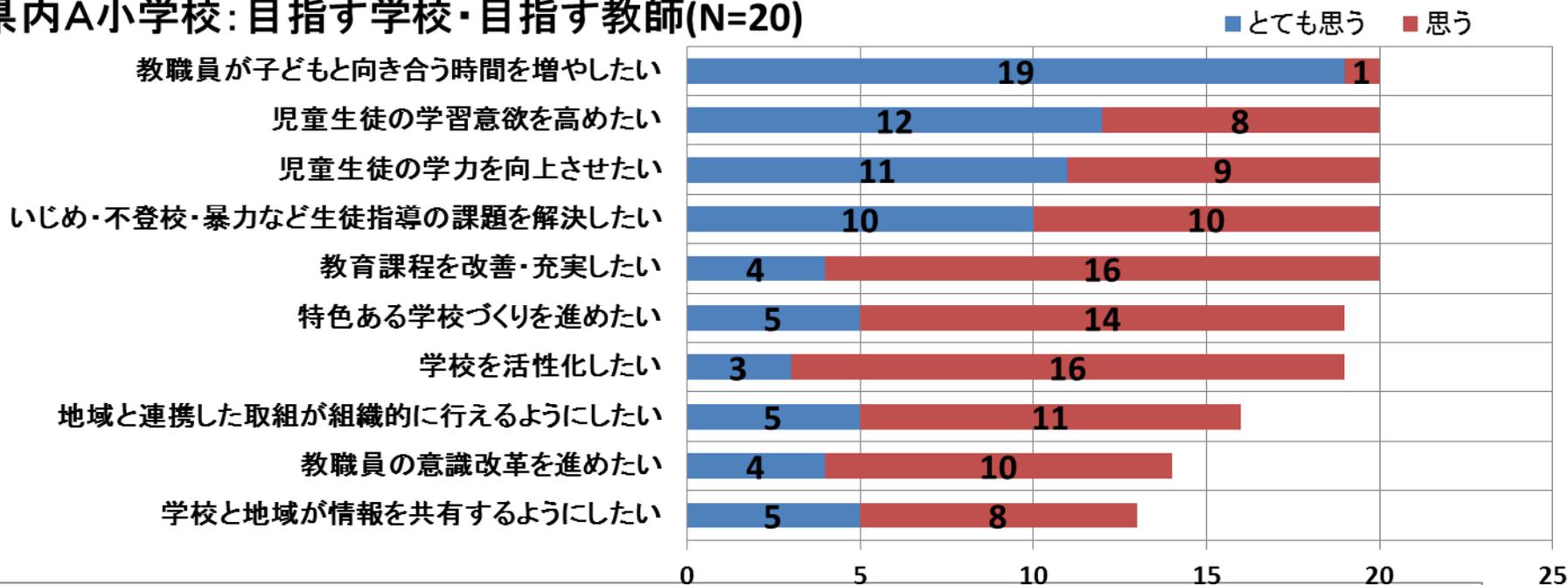


学校・家庭・地域の協働が必要

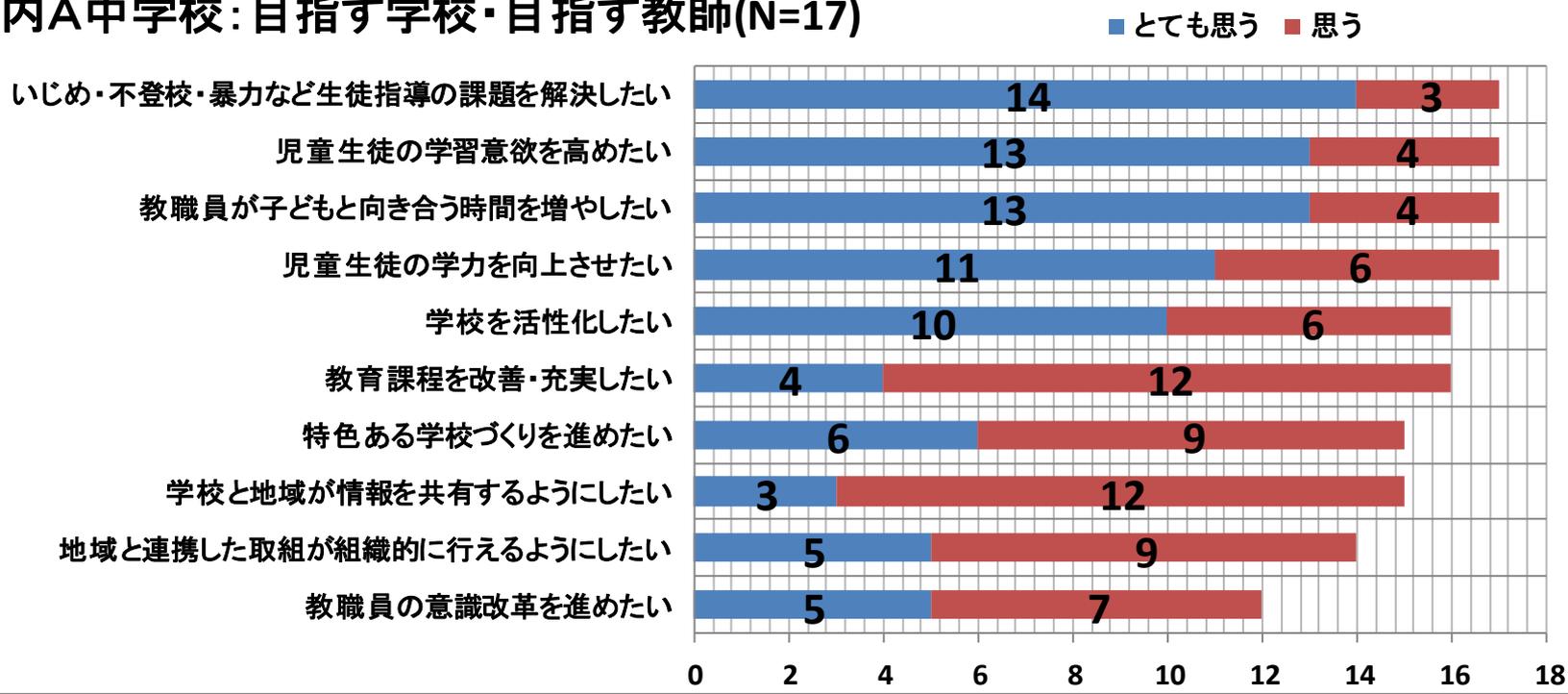


家庭・地域だけが担う

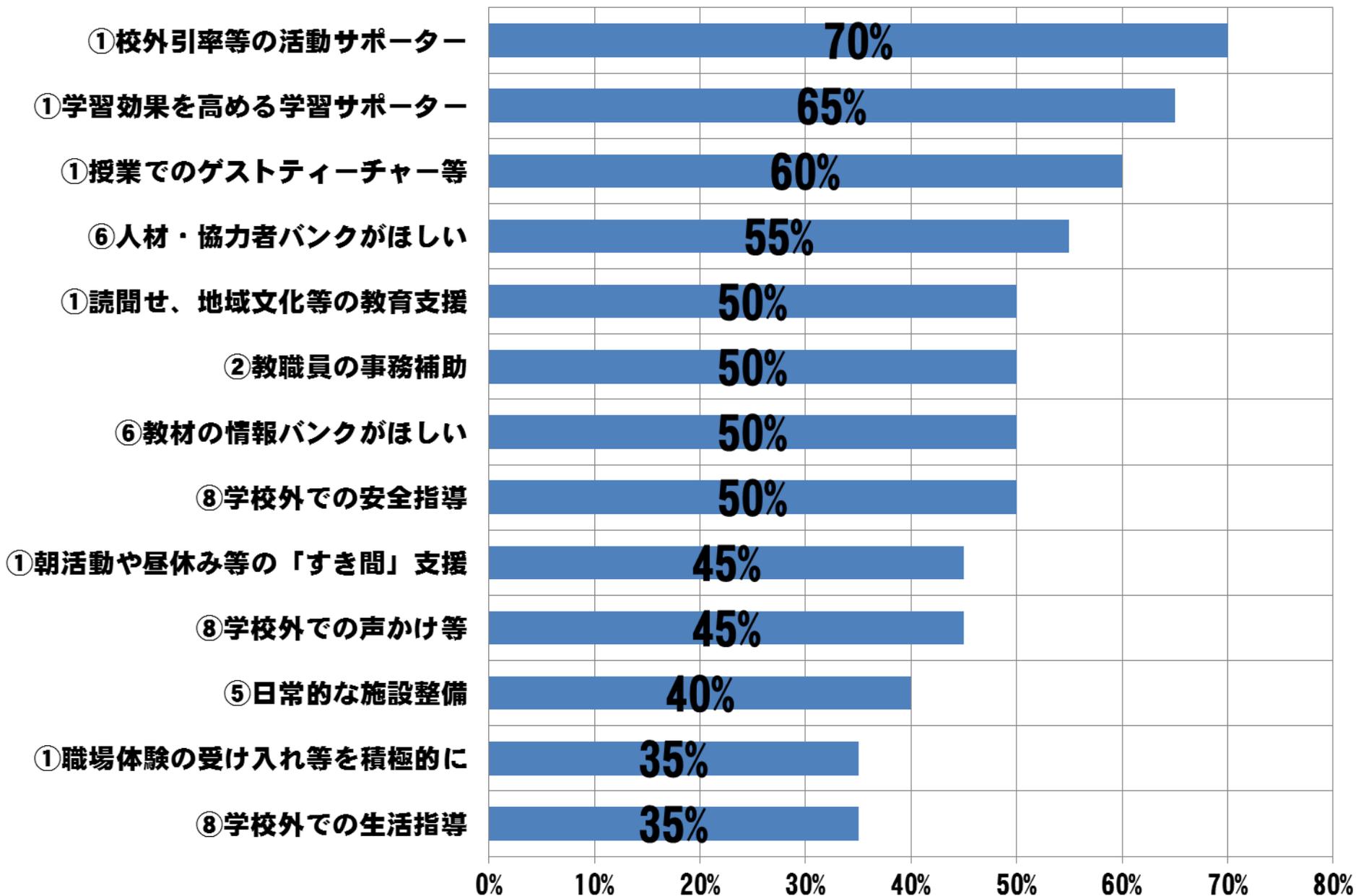
県内A小学校: 目指す学校・目指す教師(N=20)



県内A中学校: 目指す学校・目指す教師(N=17)

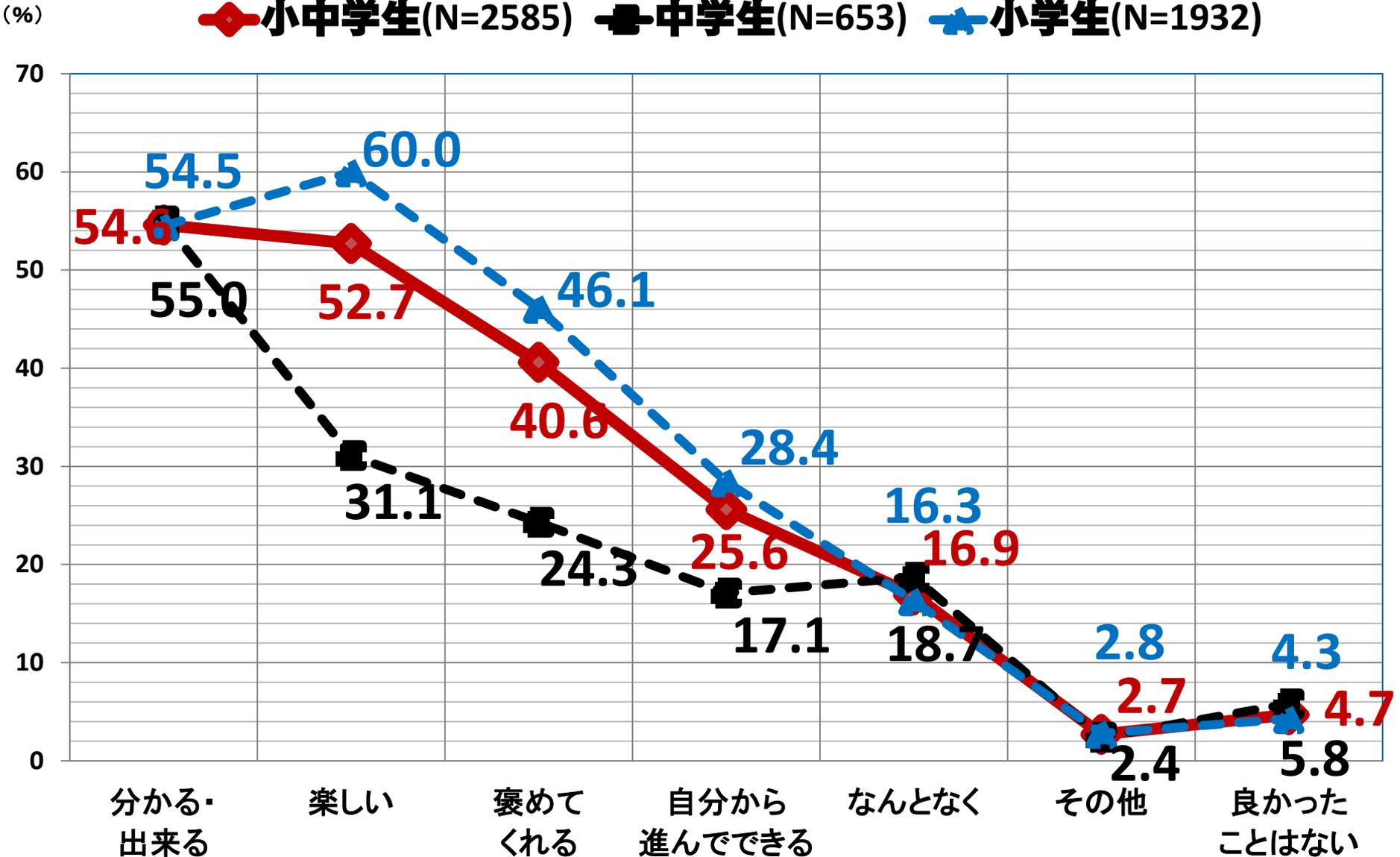


保護者や地域にして欲しい支援・取り組み



「学校支援が良かった理由」

◆ 小中学生(N=2585) ■ 中学生(N=653) ▲ 小学生(N=1932)



地域学校協働活動推進事業のイメージ図

学校



地域連携担当教員

コミュニティ・スクール

学校運営協議会

学校運営に関して協議する機関

1. 学校運営の基本方針の承認
2. 学校運営に関する意見
3. 教職員の任用に関する意見
4. 地域住民等の連携・協力の促進

教育委員会

プランの策定・統括コーディネーター

校区の取組を基本

地域学校協働本部

- ①コーディネーター配置
- ②多くの地域活動者の参加
- ③継続する地域ネットワーク

地域コーディネーター

- ①地域側の総合窓口
- ②学校支援の世話
- ③放課後等の地域活動の調整やボランティア確保

○コーディネーターの役割

○コーディネート原則

社会教育事業

学校支援地域本部活動

土曜日の教育活動

放課後子ども総合プラン

地域未来塾

社会教育活動

地域作り活動

文化継承活動

その他

協働

協働

ネットワークづくり

住民・団体等による緩やかで継続する支援活動

<対談の柱>

第1ステージ

- * 教育長からの「学校教育が抱える課題（特に教職員だけでは対応が困難な教育活動）」について

第2ステージ

- * 「学校教育が抱える課題」に対応する取組について、継続、発展するための「教育の協働」の仕組みづくりとその課題、仕組みに期待するもの等について

第3ステージ

- * 「教育の協働」の仕組みづくりに、今後求められる方向性について